

残水処理機 「硬まるくん」

省エネ設計でメンテナンスフリー

モリ技巧(株)

はじめに

生コン工場での残水・洗浄水の処理は、従来からの懸案事項となっている。従来の処理過程での残水処理は、沈殿槽や地上型の処理方法の場合、型枠の脱着作業や沈殿物の掻き出し搬送の手間、また、水切りが悪い為に水和反応では固まりにくい等の問題があった。モリ技巧はこうした従来の手間や問題を解消し、なおかつ生コンスラッジの再資源化も可能な残水処理機「硬まるくん」を開発、販売している。

特 徴

「硬まるくん」は、沈殿した未水和スラッジを自動で掻き揚げ回収するため、一切手間がかからない。また回収したスラッジは水切りが良いため、乾燥固化後に破碎すれば路盤材や再生骨材、ブロックの裏込め材等に使用できる。(※スラッジの強度は投入物の濃度によって異なる)一方、上澄水はドラム洗浄水や練水として再利用が可能だ。

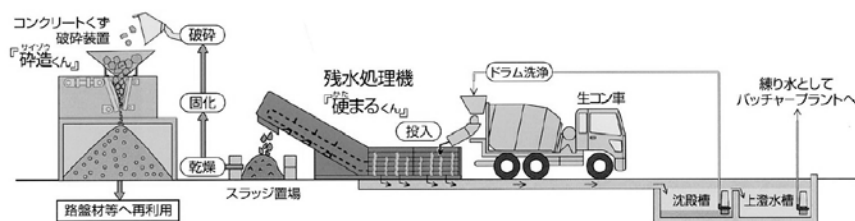
使用方法は、生コン納品後の残水をミキサー車から直接投入でき、シンプル設計のためメンテナンスも簡単で、そのうえ目詰まり除去



従来の地上型処理方法



東海林建設(株)生コン部で稼働中の「硬まるくん」



「硬まるくん」の設置例

装置付なので型枠洗浄する手間も不要だ。また、頻繁に交換が必要な消耗品がないのでランニングコストも低く、わずかな電力で掻き揚げる省エネ設計。さらに、低騒音で環境にも優しいのが特長だ。新規の設置はもちろん、既存の廃水処理設備を活かしながら設置することもでき、あらゆるユーザーニーズに応えている。

ユーザーの声

残水処理機「硬まるくん」を納入した、各生コンプラント工場長のコメント

「スラッジの発生が極めて少な

くなった」(山形県T社)

「全自動でメンテも少なく、社員の残業もなくなった。使いやすさがミキサー車のドライバーにも好評」(京都府K社)

「コスト(維持費)が下がり、また、硬まるくんから出たスラッジはすべてリサイクルプラントで路盤材になっている」(石川県N社)

「今までの廃水処理設備と比較するとメンテが減り、人件費削減になった。また、工場内の水処理が速くなった。」(愛知県I社)